

第12回地域医療対策協議会	参考資料②
令和6年9月2日	

令和7年度(2025年度)専攻医シーリングについて

熊本県健康福祉部

日本専門医機構が示した令和7年度(2025年度)シーリングの基本的考え方

シーリング数

令和6年度(2024年度)の採用数を用いた再計算は行わず、**令和6年度(2024年度)と同数**とする。

※本県は内科(33名)、精神科(11名)、整形外科(8名)

※特別地域連携プログラムを除く。

シーリング対象外

- 次の①又は②のうち、専攻医期間に医師少数区域又は医師少数スポットで専門研修を行う予定の者
 - ①都道府県と卒業後一定期間、当該都道府県内で医師として就業する契約を締結した者
(修学資金の貸与の有無を問わない)
 - ②自治医科大学を卒業した医師
- 既に基本領域専門医を取得済みのダブルボード取得希望者
- 臨床研究医コース枠者

(参考)令和6年度(2024年度)シーリングの設定について①

シーリングの対象

- 平成30年(2018年)医師数が、平成30年(2018年)必要医師数及び令和6年(2024年)の必要医師数と同数あるいは上回る診療科。
- 外科・産婦人科※1、病理・臨床検査※2、救急科・総合診療科※3はシーリング対象外。

※1 平成6年度(1994年度)と比較して平成28年度(2016年度)の医師数自体が減少しているなどの理由
※2 専攻医が著しく少数である等の理由
※3 今後の役割についてさらなる議論が必要とされている等の理由

シーリング数

(算定式)

$$\text{H30年(2018年)～R2年(2020年)の平均採用数} - \left[\left(\text{H30年(2018年)～R2年(2020年)の平均採用数} - \text{R6年(2024年)の必要医師数を達成するための年間養成数} \right) \times 20\% \right] + \text{特別地域連携プログラム}$$

$$\text{※熊本県：内科} \quad 33 - \left[(33 - 34) \times 20\% \right] + 3 = 36$$

(参考)令和6年度(2024年度)シーリングの設定について②

採用数が少数の県に対する例外

- 平成30年(2018年)～令和2年(2020年)採用数のいずれかが10未満である都道府県別診療科のシーリング数を2018年～2020年採用数のうち最も大きい数とする。

※ 本県は精神科、整形外科が該当

- 過去の採用数の平均が少数(5以下)の都道府県別診療科は、シーリング対象外とする。

※ 本県は泌尿器科、麻酔科が該当

特別地域連携プログラム(R5～)

- 原則、足下充足率^(※1)が0.7以下(小児科については0.8以下)の都道府県のうち、医師少数区域(小児科については小児科医師偏在指標に基づく相対的医師少数区域)にある施設、もしくは、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設^(※2)を連携先とするプログラムを別途設けることを可能とする。

※1 2016年または2018年の足下充足率(2016年足下医師数/2024年必要医師数、もしくは2018年足下医師数/2024年必要医師数)

※2 宿日直許可の取得、タスクシフト/シェアの推進などの取組を行ってもなお、地域医療を維持するために年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超えるもしくは超える恐れがある医師が所属する施設であって、指導医・指導体制が確保され、かつ、適切な労働時間となるように、研修・労働環境が十分に整備されている施設。なお、その際、年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える又は超える恐れがある医師の労働時間の短縮に資する分野の専攻医が連携先において研修を行う場合に限り設置可能とする。

- 枠数は、原則連携プログラムのうち都道府県限定分と同数とし、連携先における研修期間は全診療科共通で1年以上とする。

本県における各診療科ごとの専攻医の採用状況①

項目		基本領域																			
		内科				小児科				皮膚科				精神科				外科			
		R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
①	募集専攻医数	60	60	57	57	11	11	11	11	14	14	17	14	15	14	17	17	22	23	22	22
②	シーリング数	33	33	36 (3)	36 (3)	-				-				11	11	13 (2)	13 (2)	-			
③	採用専攻医数	40 (7)	32 (3)	30 (8)	34 (7)	7	1	2	6	6	7	6	2	4	7 (1)	12 (2)	5 (1)	9	7	10	14

項目		基本領域																			
		整形外科				産婦人科				眼科				耳鼻咽喉科				泌尿器科			
		R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
①	募集専攻医数	8	8	8	8	9	13	18	18	6	6	6	6	7	7	5	7	8	8	8	8
②	シーリング数	8	8	9 (1)	9 (1)	-				-				-				-			
③	採用専攻医数	9 (1)	4 (1)	1	8 (1)	6	3	6	6	3	2	5	4	0	3	3	0	3	5	6	3

※R5年度以降のシーリング数の()内はシーリング数のうち特別地域連携プログラム分

※採用専攻医数の()内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数

本県における各診療科ごとの専攻医の採用状況②

項目		基本領域																			
		脳神経外科				放射線科				麻酔科				病理				臨床検査			
		R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
①	募集専攻医数	6	6	6	6	8	6	10	10	9	8	11	21	2	2	2	2	1	1	1	1
②	シーリング数	-				-				-				-				-			
③	採用専攻医数	2	1	3	0	6	5	6	3	6	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0

項目		基本領域																合計			
		救急科				形成外科				リハビリテーション科				総合診療科							
		R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
①	募集専攻医数	18	18	18	20	6	5	5	5	2	4	8	5	19	19	20	20	231	233	250	258
②	シーリング数	－				－				－				－				－			
③	採用専攻医数	4	5	8	7	2	4	3	4	1	1	3	2	2	3	3	1	111 (8)	91 (5)	111 (10)	101 (9)

※R5年度以降のシーリング数の()内はシーリング数のうち特別地域連携プログラム分

※採用専攻医数の()内は採用数のうちシーリング対象外で採用となった地域枠医師等の数